

福島県防犯設備協会の活動について



福島県防犯設備協会 会長 渡邊 弘志

感謝

昨年の東日本大震災では、全国の皆様から心あたたまる励ましをいただき心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、この度は、会報誌「防犯設備」に福島県防犯設備協会を紹介して頂き、重ねて御礼申し上げます。

協会設立

当協会は、日本防犯設備協会と福島県警察本部のご支援を頂き、法人会員22社、個人会員5名、賛助会員3社と、福島県警察本部生活安全部長が顧問、生活安全企画課長・生活安全部参事官が参与となる協会組織で、平成23年2月16日に、全国で35番目の地域関連協会として設立しました。安全・安心のニーズに対応する為、建築・鍵・電気・通信・警備関係と幅広く、防犯設備士の有資格者、ネットワーク・パソコン関連に精通した方や専門知識を有する方々で構成されております。

平成23年度活動内容

協会会員の士気も高く「さあ、がんばるぞ!」という矢先、3月11日の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所のトラブルにより、協会活動は足踏み状態を余儀なくされ、ライフライン等の故障により会員の安否確認も困難を極め、会員全員の確認がとれたのは2週間以上も後の事でした。

あと1ヶ月設立が遅ければ、協会はなかったのではないかとさえ思われましたが、日本防犯設備協会や面識のない日本全国の方々からあたたかい言葉や励ましを頂きました。また、11月11日神戸で開催の、

都道府県防犯設備士(業)協会全国大会に、初めて出席させて頂いた際も数々のご配慮を頂き、この運のいい協会のお陰で出会えた方々との絆をより強いものにするために、また福島県警察本部からの照会等もあり、協会の存在意義を再認識し期待に応えるべく活動をしてまいりました。

平成23年度は、計画的避難区域家庭への防犯設備、捜査支援装置、不法投棄監視の提案や全国地域安全運動県民大会の後援などを技術担当理事が中心となり実施し、また広報用としてのリーフレットの作成を総務担当理事が中心となり実施してまいりました。

また、日本防犯設備協会の服部代表には避難地域や仮設住宅等の視察にも参加して頂き、協会として貢献すべき事への情報交換等をさせて頂きました。ありがとうございました。

平成24年度活動計画

5月末には、初めての通常総会を開催しました。限られた会費の中での活動には限界もありますが、北海道・岩手県に次いで全国3番目の面積をもつ福島県で、誰でもが行動し易く、継続性のある協会活動とする為に、あえて旅費規定を審議して頂きました。

平成24年度も福島県警察本部及び日本防犯設備協会と連携し、協会の目的でもある「安全で安心なまちづくり」に防犯設備面で貢献したいと考えております。

また、協会会員の方々への情報提供や活動しやすい環境づくり、テレビカメラの普及、除染地域でのセキュリティの提案等を実施する計画をしております。

全国の地域関連協会の方々からも、さまざまな情

報や資料を頂戴し有難く、また心強く思っております。今後共宜しくお願い申し上げます。

この震災や福島第一原子力発電所のトラブル後に、多く目にしたのが「安全で安心」という文言でした。防犯のために、福島県警察をはじめ、全国から派遣された警察官の方々が、被災地や県内各地で活動されており、今でもパトカーや警察官の姿が見られない日はありません。

安全で安心な生活がいかに大切か、そして、あたりまえの生活が出来ることが、こんなにも有難く感じた事は今迄ありませんでした。

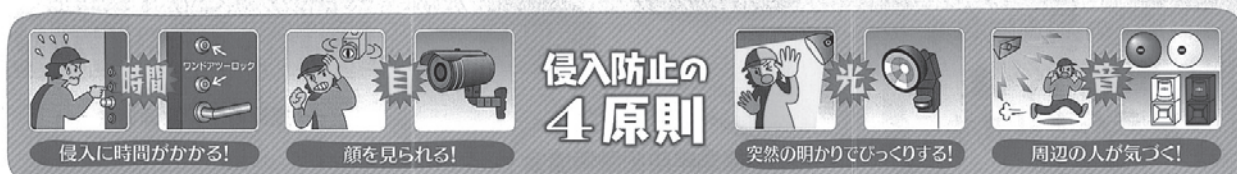
多くの会員に支えられ協会運営に努力しておりますが、まだまだやるべき事は沢山あります。これからも会員の方々と共に、一步一步確実に進んでまいりたいと考えております。

当協会のリーフレットに使用しておりますのは、福島県警察本部生活安全企画課 安全・安心まちづくり推進室が行っております「防犯の家」マークを交付する際の、戸建住宅の防犯診断チェックポイントです。

11項目以上チェックできれば合格。(但し、警察官の確認が必要)

リーフレットは会員や福島県警察本部を通じ、県内の警察署に配布し、会員名簿と合わせて活動の際の広報に使用しております。

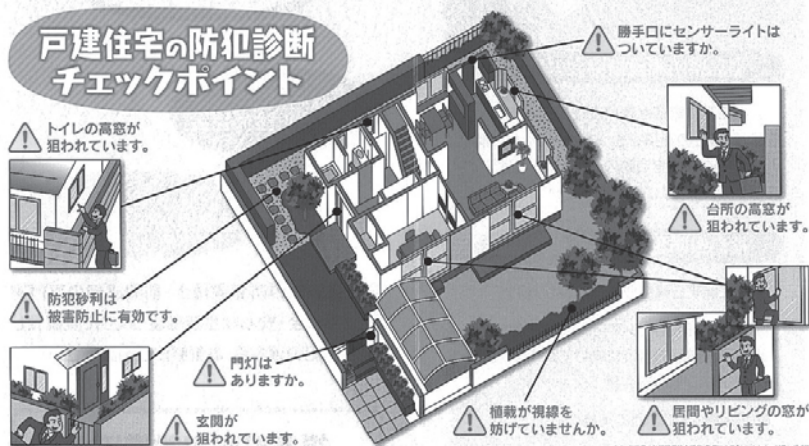
「狙わせない」「侵入させない」が原則



次の項目に従って○×でお答えください。

	チェック項目	結果
家の外周	家の周囲から建物の見通しが良い。 物置等から2階のベランダ等へ昇ることができない。	
屋外照明	門灯や玄関灯により、玄関の周囲は明るい。 勝手口にセンサーライトを取り付けている。	
玄関ドア	ピッキングに強い錠である。 サムターン回しに強い錠である。 ドアに錠を二つ以上取り付けている。	
勝手口ドア	ピッキングに強い錠である。 サムターン回しに強い錠である。 ドアに錠を二つ以上取り付けている。	
居室の窓	窓に雨戸やシャッターが付いている。 防犯ガラスを使ったり、防犯フィルムをはっている。 補助錠を取り付けている。	
居室以外の窓	雨戸を付けている。 防犯ガラスを使ったり、防犯フィルムをはっている。 補助錠を取り付けている。	
ベランダ	ベランダの手摺りは外からの見通しが良い。 ベランダの窓に補助錠を取り付けている。	
○ の 合 計		

戸建住宅の防犯診断 チェックポイント



さて、いかがでしたか。○の数を右の表に当てはめて、あなたの家の防犯性を確認してください。
防犯診断の結果は、防犯体制の目安と考えてください。
足場は常に新たな手口を研究しています。戸締まりはもちろんのこと、常に防犯に心掛けて、被害に遭わないようにしてください。

16個以上	充分な防犯対策がなされています。しかし、犯人はわずかな油断を見逃しません。今後も防犯に心掛けてください。
15個～11個	防犯対策はなされていますが、さらなる対策をお願いします。
10個～6個	少し不安です。さらに防犯対策をお願いします。
5個以下	足場が真つ先に目を付けますよ。充分な防犯対策をとって被害に遭わないようにしてください。